

「術前膿尿が 5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断の診断精度に与える影響」に関する研究

1. 研究の対象

対象となる患者様：膀胱腫瘍の患者様で、2018年1月1日から2020年12月31日までに5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられた方の中で、以下の条件に該当する患者様。

- ・年齢が20歳以上90歳未満
- ・性別不問
- ・過去の膀胱癌に対する治療歴については不問

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、実臨床で5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術における術前膿尿の存在が診断精度へ与える影響を明らかにすることです。2018年1月1日から2020年12月31日の期間に、膀胱腫瘍に対して5-アミノレブリン酸を用いた光線力学的診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術を受けられた患者様を対象として、診療録をもとに、術前尿所見、手術所見や病理組織所見から、術前膿尿が光線力学的診断の診断精度に与える影響を検討します。

研究期間：倫理委員会承認日から2025年9月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

利用する情報：診療録から、診断名、年齢、性別、身体所見、臨床症状・所見、血液検査、尿検査、FDG-PET/ CT、CT、MRI等の画像情報、術中画像所見、病理組織所見や結果など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部

電話：088-880-2402

【研究責任者】泌尿器科学講座・井上啓史

【研究担当者】氏名：山本 新九郎(医師) 高知大学病院 泌尿器科